

EX.VIEW



おにわかい つうしん

御庭会通信



四国御庭会 研修風景

四国御庭会 研修会 2月19日 新居浜市民文化センター
四国地区では、アトリエ彩の中尾公子先生により、流行の外構デザインの紹介から、物件受注につながる効果的なプレゼン手法まで、実践的な内容の講演が行われました。また会員様同士が提案図面と施工例写真をもちよって、四国地区のプランニングコンテストが実施されました。

中国御庭会 総会 4月11日 ラフォーレ新大阪
中国地区では、春の商品展示会(大阪会場)の見学に合わせて御庭会の総会が開催されました。総会では、スーパー御庭番の最新バージョンであるVER 5.0の新機能についての説明が行われました。



御庭番のデモ風景

春の商品展示会 御庭番デモンストレーション
2003年 春の商品展示会において、スーパー御庭番の機能と操作方法を説明するデモンストレーションが実施されました。御庭番コーナーにも、多数の来場者があり、エクステリアCADに対する関心の高さがうかがえました。



天端R塀の笠木仕様

スーパー御庭番VER5.0リリース
2003年5月にリリースしたVER5.0では、操作性の向上を目的とした機能アップを行っています。
例えば、『変化塀の笠木仕様』では、天端がRの変形塀に対して、レンガ笠木を配置した納まりが作図できるようになり、また『平面多角の境界検出機能』では、複雑な多角形アプローチや駐車スペースなどを、クリック1つで面と認識し、仕上げの設定が可能となるため、従来に比べ作図スピードがさらにアップします。

おにわばん
御庭番スタッフ紹介

群馬県高崎市 有限会社オオシマ様

「きれいなパースで、お客様がイメージしやすい。
処理も早くなり、仕事がスピーディに片づきます」



御庭番担当の大嵐基嘉様

5年前、私が父の会社に入社すると同時に、御庭番を導入しました。それまでの仕事がOA機器関連だったので、コンピュータには強く、御庭番も最初からすんなりと使いこなすことができました。当初は、図面上の計算と現場での納まりの違いなどに多少とまどったりもしましたが、それにも慣れて、自分でプランニングすることに面白さとやりがいを感じています。

最近、新しいパソコンでスーパー御庭番を導入したところ、段違いに処理が早くなっていて驚きました。以前は処理する間、煙草を吸って待つ時間があったんですが、今回はあっという間にできあがります。おかげで仕事がさらにスピーディに片づき、助かっています。

御庭番で描いたきれいなパースは説得力がありますね。当社のお客様にパースを渡し、ご要望や変更を直接そこに書き込んでもらう...という方法でプランニングを詰めていきます。お客様もイメージがつかめるようで好評をいただいていますし、商談も早く進みます。ゆくゆくは、ノートパソコンをもってお客様を訪問し、目の前でパースをつくって、いろんな目線で展開したものを見ていただきたいですね。そうすればさらに説得力が増すと思います。

休みの日は、2歳の息子と遊んでいます。先日息子が大好きな新幹線を見に行きました。会社のスタッフは父と私の2人ですから忙しく、日曜日でもなかなか休めないこともありますが、そのかわり毎日夕方には帰れるので、息子とお風呂に入ったりに一緒に夕食をとったり、それが一番の気分転換になっています。

三協アルミ

〒933-8610 富山県高岡市早川70 三協アルミニウム工業株式会社
エクステリア建材事業本部 EX.VIEW編集室
TEL0766 20 2261 FAX0766 20 2071
ホームページアドレス <http://www.exteriorworld.jp/>

エクステリア プランニングコンテスト

コンテスト総評

審査委員長 笠島 孝至氏

街並みとは視線の交流の場である、とも言えます。街を歩くことの楽しさは、単なる家の連続を超えた何かを感じ取ることができるからなのでしょう。エクステリアデザインとは、この何かを創り上げて行く作業であり、街行く人、その内側に住む人の視線を、絶対的感覚で捉えてゆく事が重要な要素となっていると思います。

伝統的な街並の美しさは誰もが認める所であり、その美しさは一体、どこに由来するのかを考える時、私達の視線を柔らかく優しくさせてくれるいくつかの装置に思い当たります。垣根越しに見える庭先の緑、町屋のリズミカルな格子、店先の揺らぐ暖簾など伝統的な手法がいくらでもありました。しかし、現代の過密化した都市では、そのような余裕はほとんどなくなり、周囲への無関心や拒絶したポーズが主流となっているようです。価値観の多様化した現代社会では、個の確立、プライバシーの確保が最優先になるのはいたし方なく、外部からの視線を遮る事が要求されるのはやむをえない事ではあります。視線を、遮りながら透過させるところは見せる、このような視線を制御する事をもう一度見直し、エクステリアデザインを考える事が、今、大切になっていると思います。視線の制御には、伝統的手法と共に現代の手法と呼べる多種多様な部材がまわりに提供されていると思いますし、メーカーとしても現代の街並への装置創りに努力しています。

この過密な現代の街並にとってエクステリアデザインへのニーズや期待度は、この時代だからこそ必要性が高くなっているようです。このコンクールにおいても例年に比して今年の盛り上がりは高く、これは、皆様のエクステリアデザインへの関心と日常の作業における社会への責務を持ちながら、業務に対しておられる現れだと思えます。審査員一同、そのような皆様のパワーを感じ取りながら、大変に困難な審査作業をいたしました。実際に計画されている多くのプランが、現代の都市に対してひとつの解答や提案を見せている事に大いに喜ばしく感じると共に勇気づけられた想いです。



笠島 孝至氏プロフィール
環境造形デザイナー 株式会社 スーパープランナーズ代表取締役
'70年-千葉大学工業意匠学科卒 '71年-早稲田大学建築専修学部で学ぶ '75年-株式会社スーパープランナーズ設立 東京サミット等のイベント会場デザイン、店舗及び住宅設計、造園デザイン等を手がける。

入賞店一覧

敬称略

A部門 U.スタイル部門

- 金賞 ポラスガーデンヒルズ 株式会社
- 銀賞 株式会社 春光園
- 銀賞 株式会社 広島美建
- 銅賞 E&A設計 株式会社
- 銅賞 株式会社 旭エクステリア
- 銅賞 サニー住宅設備 有限会社
- 敢闘賞 株式会社 エクステリア福井

B部門 アーバングレー部門

- ベストプラン賞 株式会社 グリーン京阪
- 金賞 株式会社 景匠館 四国営業所
- 銀賞 有限会社 横山工業
- 銀賞 株式会社 多々良造園
- 銅賞 株式会社 大建工業
- 銅賞 株式会社 桑和
- 銅賞 住友林業緑化株式会社 神戸営業所

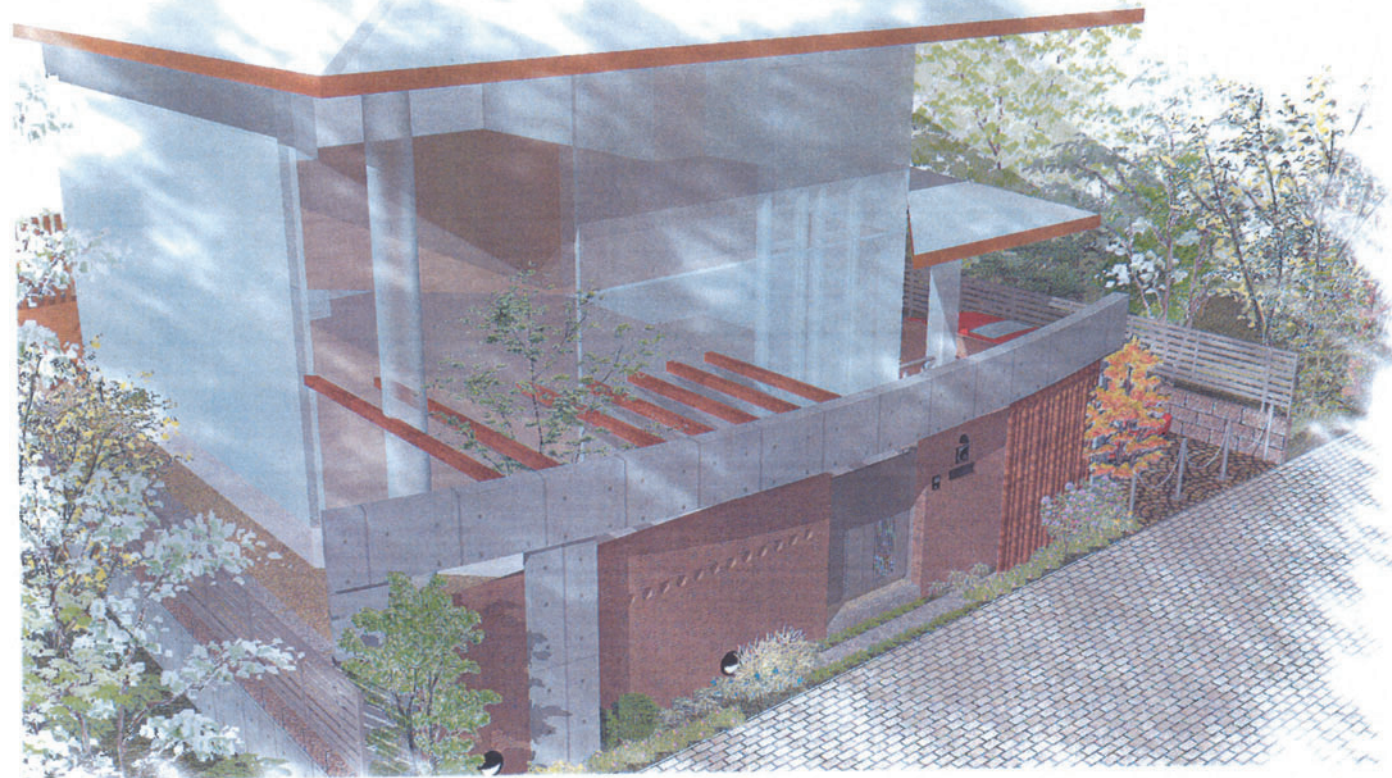
C部門 リフォーム部門

- 金賞 トーナン建設工業 株式会社
- 銀賞 富士和工業 株式会社
- 銀賞 尾上建設 株式会社
- 銅賞 千葉グリーンセールス 株式会社
- 銅賞 アベ建材 株式会社
- 銅賞 株式会社TOTO水彩プラザ金沢
- 敢闘賞 株式会社 タケシタホーム
- 敢闘賞 ナゴヤ・ディ・ディ

アーバングレー部門 株式会社 グリーン京阪

ベストプラン賞

新和風提案



都市型住宅では敷地内のプライベート空間、道路側のパブリック部分をどのように仕切るかは、街並を考える意味でもとても大切と言えます。日本の伝統的独立住居では、塀門、玄関と幾重にも積層する装置でパブリックとプライベート部が連結され、その部分のデザインにかなりの精力が傾けられてきたと思われます。都市が高密度化し、敷地が狭小化するなかで日本の街並の豊かな美観を取り戻す手法は、今、エクステリアをデザインするにあたって重要な課題となっています。



この作品は、建物と道路との狭い空間を和の伝統的要素を取り入れた巧みなデザイン手法で解決され、ひとつのヒントを与えてくれています。大きくカーブするコンクリート打ち放し塀の梁部は、浮遊感ある塀として境界ラインを穏やかに仕切り、縦格子の隙間からは玄関ポーチや内部の植栽などが見え隠れて、進行く人に心地よいリズム感を与えます。門扉が取り付け

られた実際の塀部は直線デザインなので、道路ラインよりセットバックさせ、格子部、打ち放し部と重ねて見せる事でエクステリアファサードに立体感を与え、単に仕切り塀になる所を深みある意匠でまとめています。また、その塀に施した左官材料とアーバングレーの持つ現代的な素材感の巧みなコーディネートが、街並に豊かさを与えています。



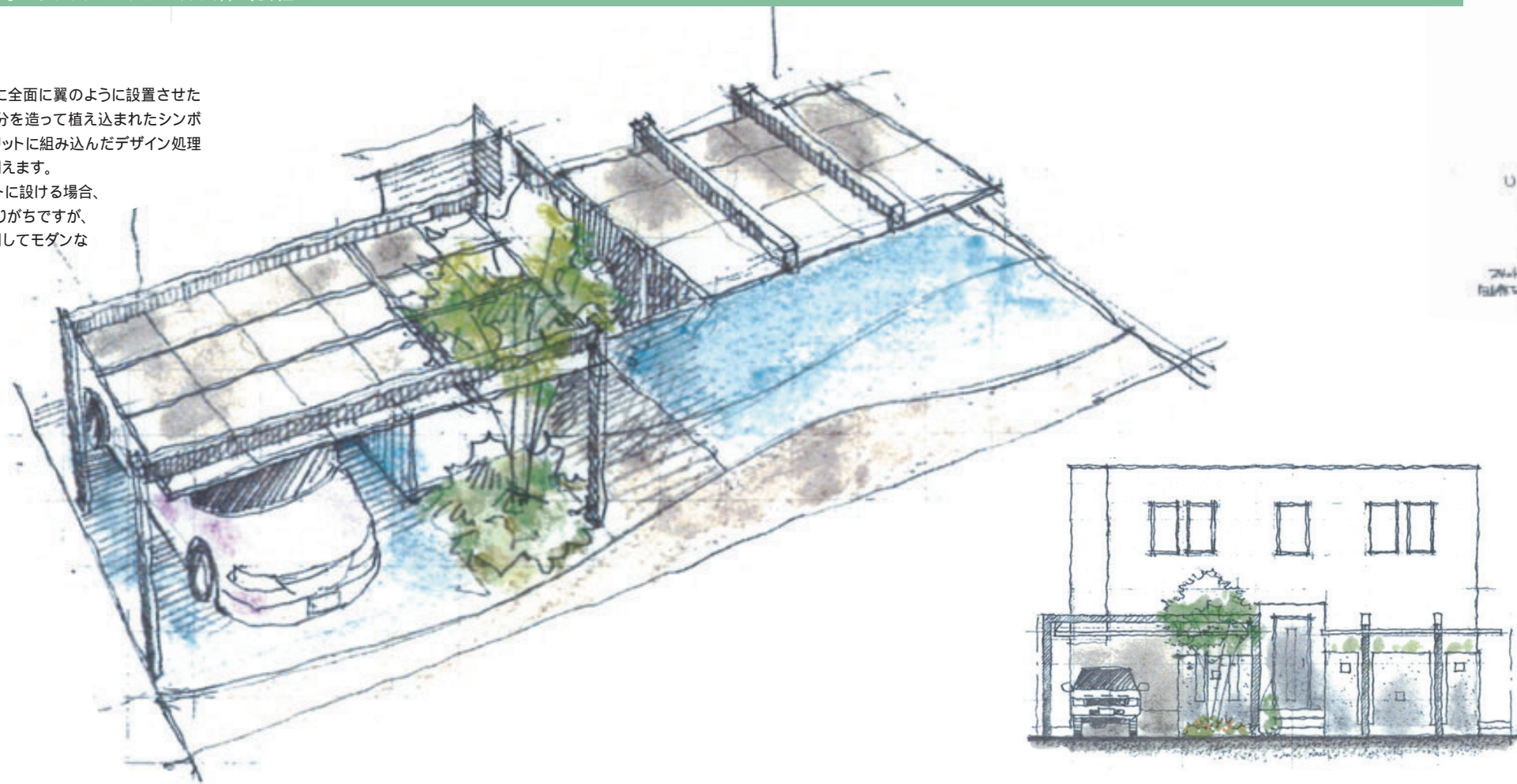
INDEX

- EXプランニングコンテスト入賞店発表 1~5
- リュック流ガーデン講座 6~8
- 設計ノート 9~12
- 2003年エクステリア商品展示会開催 13~14
- 春の主な新製品 13~14
- 御庭会通信 裏表紙
- 御庭番スタッフ紹介 裏表紙

表紙：村西恵津氏/イラストレーター・デザイナー
インテリア・生活小物デザイン等幅広く制作活動...
2000年九州・沖縄サミットでは、公式贈答品となった扇子の挿し絵を手がける。

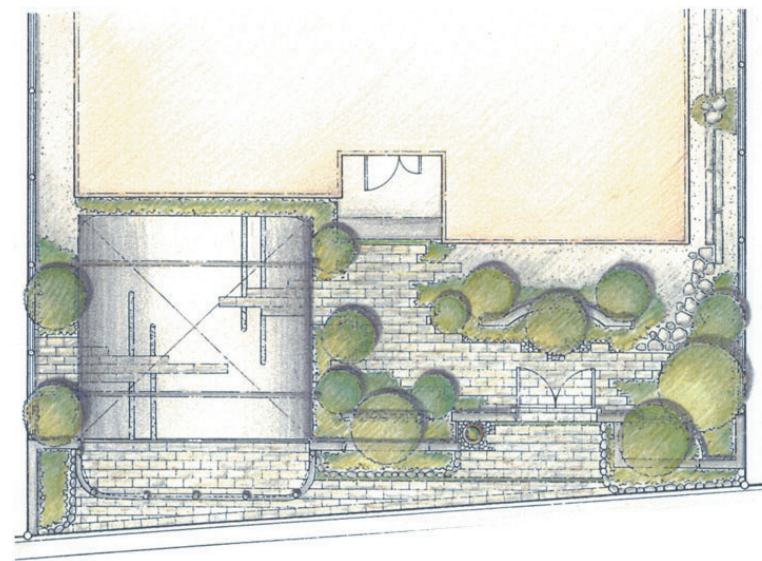
金賞 U.スタイル部門 ボラスガーデンヒルズ株式会社

U.スタイルのフラット屋根を建物前に全面に翼のように設置させたプランですが、屋根の一部に開口部分を作って植え込まれたシンボルツリー、片支持柱を背面の塀のスリットに組み込んだデザイン処理など、プランナーのセンスの良さが伺えます。
2台分のカースペースを住宅フロントに設ける場合、単調で窮屈な雰囲気イメージになりがちですが、U.スタイルフラット屋根を巧みに使用してモダンなファサード造りに成功しています。



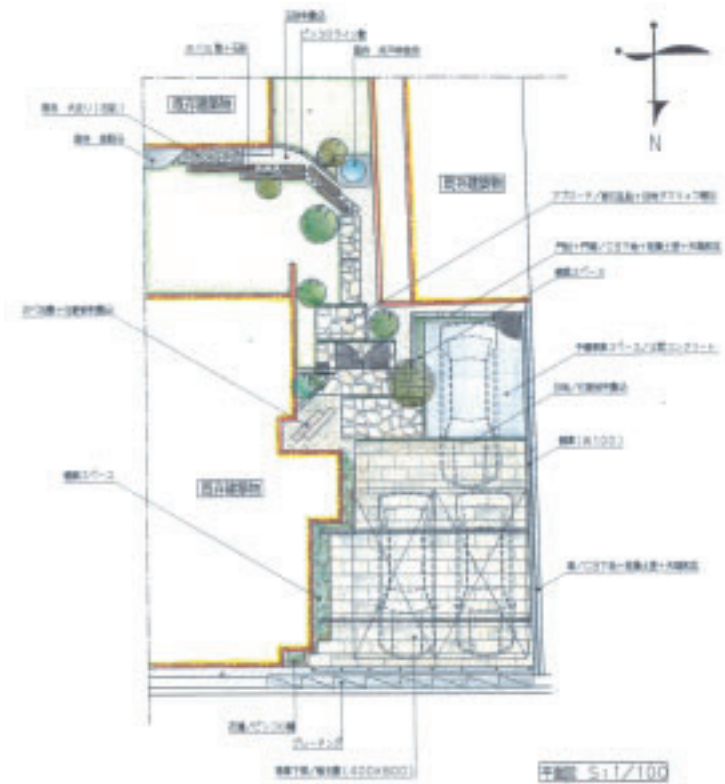
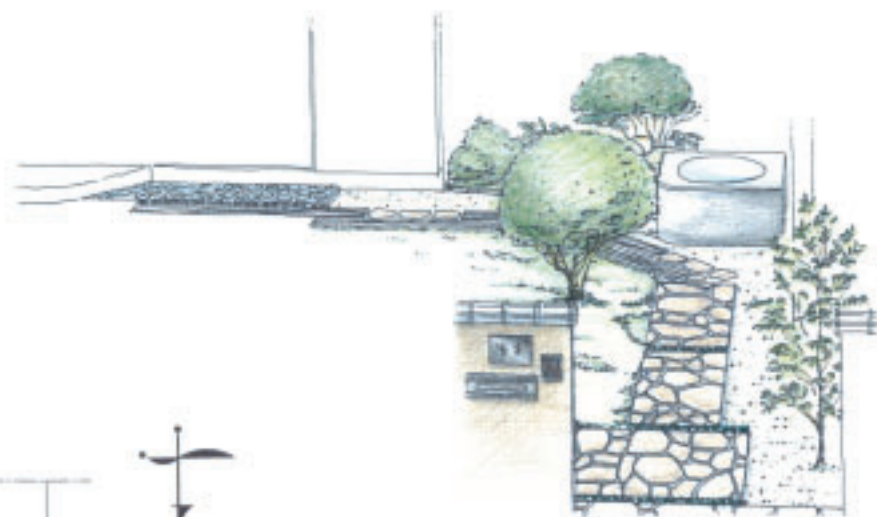
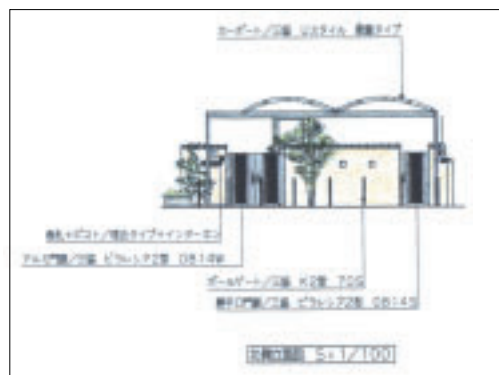
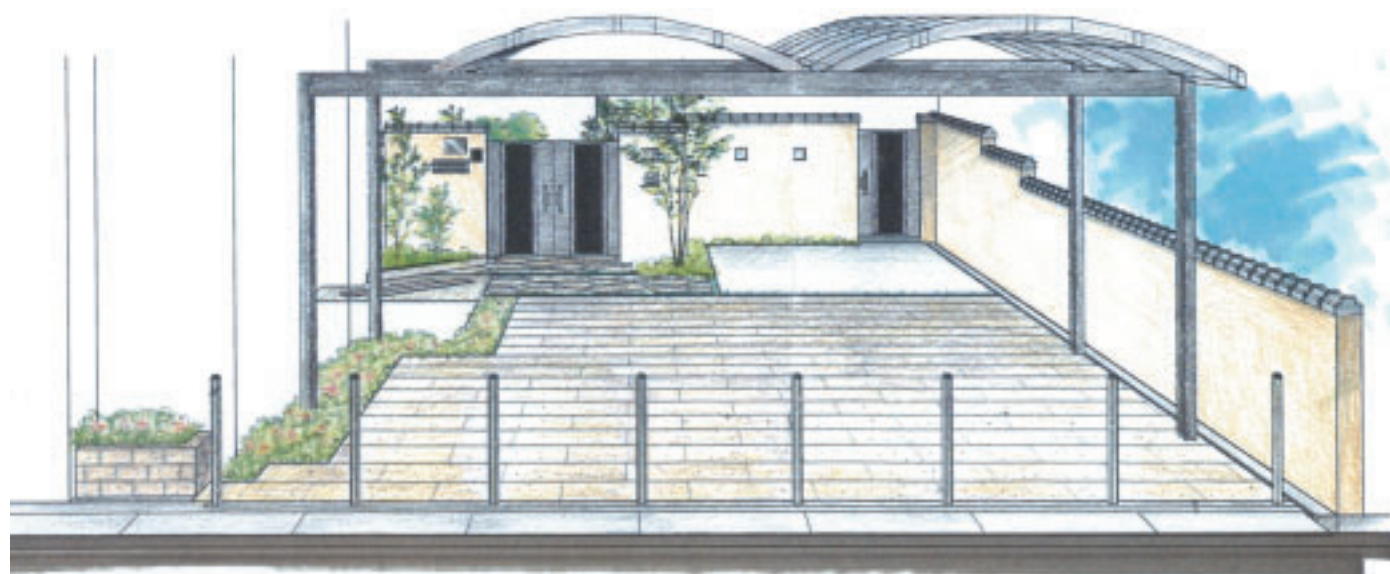
金賞 アーバングレー部門 株式会社 景匠館

美しい街並は、住宅を“都市の連続性のなかでいかに存在を表明しているか”という緊張関係の上に成立していると言えます。
道路境界では公共的性格を付与しながら街並への調和を意図して、内側では個を主張するアイデンティティを持った門構えと言う顔を表すと言う関連性のなかで成り立っているように思えます。
この作品では、道路境界ラインを変化ある植栽スペースで処理し、内には個性的な門構えを品格を持たせてデザインする...との作者の意図に完成度の高さを感じます。
コンクリートとアーバングレーのアルミ素材による彫刻的な表現が絶妙なエクステリアファサードを創り、昨今の都市環境の下で必須なクローズドエクステリアへのひとつの答えを提案していると思えます。



金賞

リフォーム部門 トーナン建設工業株式会社



敷地が旗竿型のため、リフォーム前の状況では、道路側は車庫と塀のみが存在する味気ないエクステリアファサードとなっていました。リフォームプランでは、既存の塀と屋根付車庫を取り払い開放的なアプローチ空間にする事でドラスティックに変化させています。和風の外構デザインとUスタイルの梁置タイプにより、開放的で明るい路地空間として、見事なリフォーム例となっています。

リフォーム前



リュック流ガーデン講座一三 プラスアルファの演出 「マテリアル」と「遊び心」

日本ガーデン会草分けのベジジスト(景観設計家)グロッセ・リュックさんの好評講座...最終話は「 ガーデンを演出するプラスアルファ」として、「マテリアル」と「遊び心」がテーマです。いろいろな素材の質感を生かす方法、見る人の想像力をかきたてるストーリーのある庭づくりなど、リュックさんならではのポリシーとテクニックを伝授します。

ベルギー大使館の中庭。庭伝いに行き来できるように、飛び石がわりに木製の五角形のデッキを設置。高さや大きさをえることで、狭い中庭に軽快なリズムが生まれ、楽しい空間に。



木、石、金属、合成樹脂 それぞれの風合いと特徴を生かして アクセントに

ガーデンをより楽しく演出するには、マテリアル(素材)の上手な使い分けが大切です。それぞれの素材の質感がガーデンのイメージを左右するからです。

マテリアルは大きく分けて木、石、金属、合成樹脂などがあります。木はナチュラルで軽く加工がしやすく、しかも価格も安いので非常に好きな素材です。もともと植物なので、どんな庭にも自然にフィットしてくれます。また、たとえばベンチやデッキをつくる場合、石や金属だと夏は熱く冬は冷たいのですが、木は温度差を和らげ、人にやさしい使い心地です。

金属、特に鉄も面白い素材です。どちらかというところヨーロッパのお城などクラシックなイメージが似合い、パーゴラやフェンスに使うと非常にリッチな庭が演出できます。ただ価格が高いため、一般にはもっとシンプルに、トレリス、マーカ、花台などのワンポイントに使う方法もあります。いずれにしても戸外では錆び防止の定期的な塗装など、アフターケアが必要です。



金物のショップで、アイアンを使用した看板。雲の上にハシゴをかけ、そこを上って水やりをしているファンタスティックな世界。金属の質感を使い分けてメルヘンの世界を創り出している。



横浜プリンスホテルの温室の一面。石を使うことで、重厚でスケールの大きな大自然を演出できる。滝をイメージした階段に、大きささまざまな形の石が置かれ、空間に変化をつけている。オットセイはブロンズ製でイギリスから輸入したもの。

DIYショップで販売されている塩ビの管を使った手作りのベランダ。管をタテと横に使い、ところどころ穴を開けてプランター代わりに利用した。チープな素材だが、軽くて丈夫なので、マンションのベランダには最適。軽快な白色なので、狭い空間に圧迫感を与えない。



グロッセ・リュック氏



1951年ベルギー、ブリュッセル生まれ。ベジジスト(景観設計家)。ベルギーのマリモン・エコール・シュペリウール造園学科卒業。フランスとベルギーにて造園設計・施工・監理業務から大使館の庭師を経て1987年来日。現在、(有)みどりのゆび取締役設計部長。岩手県と埼玉県を拠点にリュック流ガーデンのデザイン・施工・オブジェデザインの分野で活躍中。著書「ガーデンデザイン」(コスモヒルズ刊)

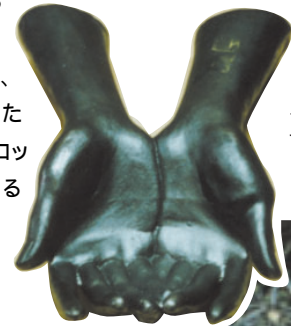
水の流れは心を癒し、ガーデンに楽しい変化をつけてくれる

厳密には「マテリアル」というくりに入らないかもしれませんが、「水」という素材も私には非常に重要なガーデンの要素です。人間の身体の70%は水であり、すべての生命のベース。水が身近にあると人はくつろぎ、そこから発するマイナスイオンのエネルギーをもらうことで心身ともにリフレッシュできます。ですから私は、ガーデンづくりにはできるだけ水を採り入れるようにしています。

池でも、噴水や小さな滝でもいい...水の動きは庭に視覚的な変化をもたらしますし、水音やしぶきは涼しさや爽やかさを演出してくれます。滝なんて予算がなくてつくれない.....と思うかもしれませんが、そんなことはありません。日本には竜安寺の

石庭のような「見立て」の伝統があります。そのように、たとえばコンクリートの階段と石で「滝」の流れを表現するというのもできるのです。

それに水辺は噴水や立水栓、吐水口など、オーナメント使いに工夫がこらせるところ。水の動きにはかならず注目が集まりますから、ユーモラスな動物をあしらった噴水や、デコラティブなテラコッタの吐水口など、遊び心のある演出を心がけています。



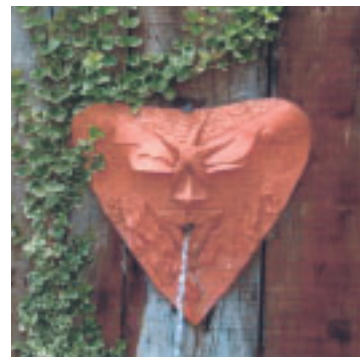
川口市立グリーンセンターの秋の鑑賞会・植栽展示に出品された、リュックさんのオリジナル。ブロンズのように見せた樹脂製。両手の間に穴があいていて、そこから水が出るようになっている。吐水口もこんな仕掛けがあると、ストーリー性があって楽しい。



口から水が出てくるオーナメント。素朴な感覚のテラコッタ製で、カナダから輸入したものの。こういうクラシックなデザインのものがあると、庭にぐっと趣と奥行きが増す。



池の真ん中で3匹のカエルが囲む噴水。カエルのしぐさがユーモラスで、遊び心いっぱい。カエルたちがどんな会話をしているのか、童心に戻ってそんな想像をしながら水の流れを楽しめそう。



枕木をつないだデッキのところどころに穴をあけてタマシダなどを植え込み、カラフルにペイントした石の顔と手をつけたもの。デッキと植物だけでなく、こういった遊び心が増えると、ワクワクするような楽しい空間に。

驚きや想像力を呼び起こすスカルプチャーで、公園を楽しい思い出の場所に

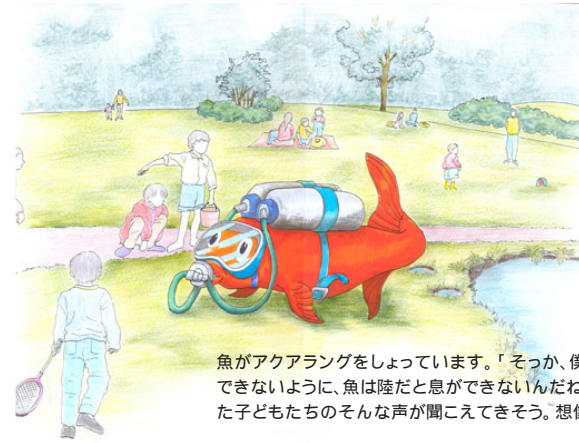
日本の公園や公共のガーデンは、全国どこも同じで平凡な印象を受けます。ツツジの庭園、それは素晴らしい! でも行ってみるとどこのツツジ園も変わりばえしません。日本は南北に長い気候も違いますし、街の歴史も異なるのですから、それぞれの地域に合ったオリジナリティの高い演出を考えたほうがいいと思うのですが。

公共のガーデンを、ただ整っただけのつまらない空間にしないためには、想像力をふくらませるストーリーや、思わず微笑んでしまうようなユーモアの要素が大切ではないかと思います。そこで私は、スカルプチャーを用いて、そういった「遊び心」を表現するようにしています。

たとえば、アクアラングを装着した魚.....こんなスカルプチャーが公園の一面に置かれていたら、子どもたちはどう感じるでしょうか。「なぜアクアラングしてるの?」「あ、魚は水の中じゃないと苦しいんだ」「どこから来たの?海に帰りたい?」そんなふうに空想を紡いでいくでしょう。あるいは、塀に片腕をめぐりこませてしまった少年のスカルプチャー。それを見た子どもたちは、「塀の裏側はどうなっているんだろう?」と気になって必ず裏を覗いてみることでしょ。そして、そこから突き抜けている腕とサッカーボールに驚き、納得し、その不思議な世界を楽しむのです。

こういった楽しい仕掛けは、訪れる人たちとく

リュックさんが考案した公園のスカルプチャーたち



魚がアクアラングをしょっています。「そっか、僕らが海の中で息ができないように、魚は陸だと息ができないんだね」まわりを取り巻いた子どもたちのそんな声が聞こえてきそう。想像と意外性が楽しい。



塀のなかにめり込んでしまった腕。塀の向こうはどうなっているんだろう?子どもならどうしても覗いてみたくなるはず。不思議なファンタジーの世界に連れていってくれる。



に子どもたち)に強烈な印象を与え、そのことによって公園が楽しい思い出の場所になるかもしれません。そして、そんなスカルプチャーと出会った公園を、大人になっても「あそこには不思議な魚がいたっけ」「あそこの壁には、サッカーしてる少年がいた」と懐かしく思い出すのではないのでしょうか。その子どもたちが大人になったら、自分の子どもを連れてもう一度来たいと思う.....そういう公園をつくりたいですね。

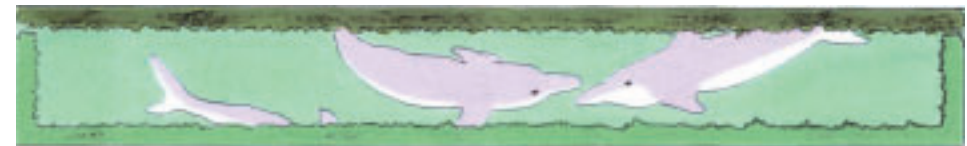
ですからスカルプチャーは、現在の公園によく見

られるありきたりの胸像や抽象的な幾何学作品では、無難すぎて面白くありません。たとえば、私の母国ベルギー出身の女流彫刻家、ニキ・ド・サンファール...彼女の作品のようなカラフルでグラマラスで生命力に満ちたものを置けば、楽しさや暖かさが伝わってくると思います。

あるいは前述したようなユーモアやストーリー性のあるスカルプチャー。そういった「楽しくて元気なもの」「オリジナリティのあるもの」「想像力をかきたてるもの」を置きたいのです。



花壇のデザイン画。ピンクのイルカが泳いでいる様子を、花の苗で表現。イルカの部分はピンクと白のペゴニアを植え込み、まわりは芝生やアイビー、ブミラなどを。



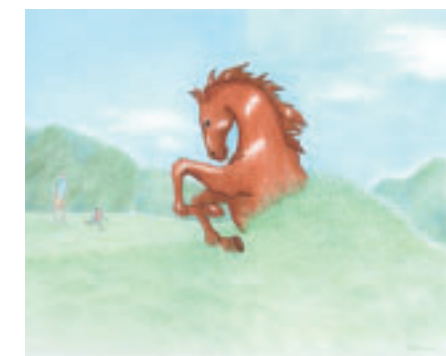
新しいコンセプトのガーデンにもチャレンジ

さて、ガーデンはこれからどんな方向に行くのでしょうか。現在、世界では、非常にシンプルなものなガーデンが注目されています。母国ベルギーでも、広い場に実のなる木と芝生だけ.....という庭園があります。“余分な要素をそぎ取って、石と少し

の植物だけで構成するシンプルなガーデン” “斬新な形状の壁とか、コントラストの強い色などを組み合わせたモダンなガーデン”...これからは、こんな新しいコンセプトのガーデンにもチャレンジしていきたいと思っています。



「東京砂漠」をイメージしたというアイデア。歩道の敷石の1枚をめくったら、そこにはあふれる花と緑が。味気ない都市の真ん中にこんなオブジェがあったら楽しいし、文明に対するメッセージも感じられる。ぜひどこかで実現してほしいもの。



土の中から生まれ、まさに跳びはねようとしている馬のオブジェ。自然公園の一角にこんな場所があったら、子どもの想像力がかきたてられ、いつまでも思い出に残る場所になりそう。



A団地 門から続くアプローチの塀は、アールの曲線がやさしく人を導き入れてくれる。



門塀はジョリパッドを使い柵引仕上げで暖かい雰囲気に。



門やアプローチ塀の要所には御影石をあしらひ、重厚なアクセントをつくっている。御影石は適度な間隔をもたせて並べ、圧迫感もなく、建物と駐車場とのつながり感をもたせている。



アプローチ塀にはところどころにフットライトが設けられ、おしゃれな雰囲気を醸し出すとともに、夜の足元を照らす。



販促活動はHP程度なのに個人のお客様も増加 石や樹木など素材にこだわり、和の雰囲気をもった独自のエクステリアを演出

もともと父が(株)寝屋川植物園という外構の会社をやっている、平成元年にそこから独立する形で創立した会社です。父の方は公共事業が主体ですが、当社は戸建ての住宅がほとんどです。取引先は大手ハウスメーカーが多く、ニュータウンを数十棟まとめて受注することもあります。最近では個人の施主様も増えています。これはお施主様からの紹介や口コミもありますが、販促用につくったHPの効果が大きいようです。ここ1~2年、「HPを見て来ました」というお客様が目立って増えてきました。

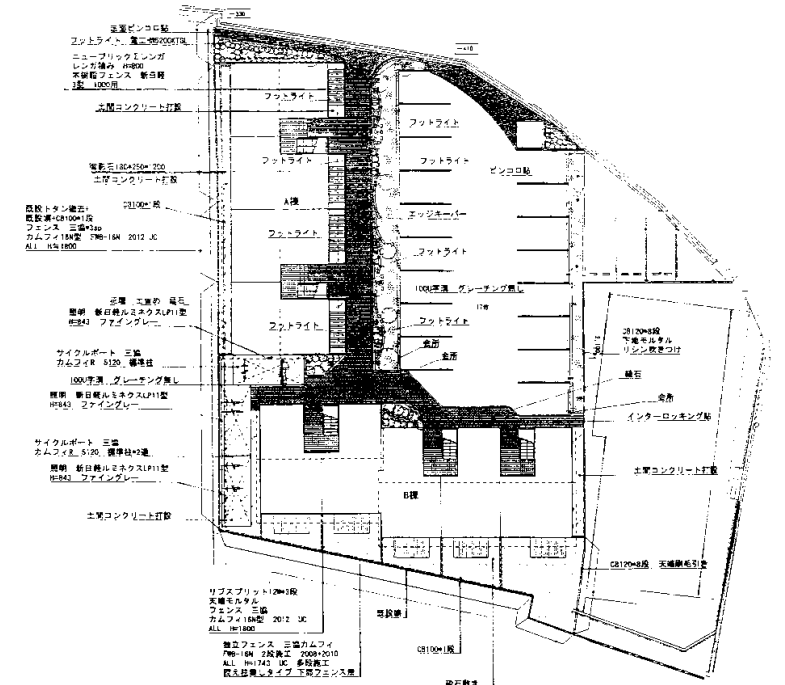
現在、社員は私と設計担当者2名のみ。これといった営業活動をしていない当社の自慢は、なによりも設計力です。設計担当者は非常に勉強熱心な上に、創業当初からCADで図面を描いてきたので、早い段階から完成度の高いプランが提案でき、パースを一見して商談成立といったケースもあります。活動エリアは交野市内~奈良北部、京都南部が中心ですが、神戸や和歌山まで足を伸ばす場合もあります。

プランニング上で心がけているのは、「どこかに「日本」を意識していきたい」ということ...新しい和の雰囲気をエクステリアにうまく採り入れていけたらと思います。素材にもこだわっていて、とくに石材は独自に輸入するなど豊富に使っています。地域の木や植物も大事にしたいですね。日本の風土に合い、歴史を育んできた木が、その地域の街並みには一番似合うと思います。また、環境に配慮し、モラルの高い仕事を続けるために、ISO14001(環境マネジメントシステム規格)の認証も取得しました。そのことで大手ハウスメーカーからの信用度も増したように思います。

今後は、オリジナリティの高いプランで「あれはグリーン京阪の庭だ」と認めてもらえる仕事をしたいですね。突飛が目立つということではなく、日本の街に自然に溶け込みながらも主張する.....そんなセンスの良いエクステリアをつくってきたいですね。

A団地 設計のポイント

団地のプラン例です。建物の配置と駐車台数が決まっていたぐらいで、あとは自由にレイアウトさせていただきましたが、初回の提出プランでほぼOKになりました。駐車場と住まい部分の境に低い塀を設け、駐車場を視覚的に遮りながら各住戸に出入りできるようなアプローチをつくりました。楽しく遊び心のあるアプローチにしたかったので、塀は曲線を多用してやさしい雰囲気としています。道幅が狭いので圧迫感が出ないようにスリットを入れ、駐車場との空間的なつながりも意識しました。門や塀には御影石、床にはコロ石など、天然石を要所要所に用いて高級感を演出しています。駐車場の床には、細かい天然石を樹脂で固めた透水性のある素材(天然石透水樹脂舗装材)を使用しました。奥のフェンスや駐輪場の屋根などはアルミ製品を使用しています。



代表取締役社長
近藤利則様



設計
水口勇登様



N様邸 ささまざまな天然石やアンティークレンガを使い、スクエアな柄を描き出した中庭。素朴なカントリーテイストの空間に咲き乱れる花鉢が美しく調和している。



お娘さんが絵柄を描いたオリジナルの鉢。改装の記念に「エクステージ」からお客様にお贈りしたものです。



花いっぱいN様邸外観。道ゆく人は必ず立ち止まって眺めるほど。外塀のレンガ部やガレージの床などは今回新たに改装。アンティークレンガや石で落ち着いた雰囲気となっている。ガレージのシャッターに書かれた花の絵は、美大に通うお娘さんの作。

N様邸 リフォーム設計のポイント

N様は龍野市主宰のガーデニングコンテストの常連さんで、花鉢や植栽を非常にたくさんお持ちです。今回、庭の一部と門のまわり、駐車場の床などを改装。お客様のご希望は、「カントリー調で、花台や鉢類がたくさん置ける中庭にしてほしい」ということでした。改装前は土の上にレンガ敷きでしたが、それをきちんとレンガ調に施工。スクエアなデザインは当社の提案をお選びいただいたもの。床は天然石やアンティークレンガなどを組み合わせて色・柄に変化をつけ、周囲に透水性のある細かい天然石の舗装材を敷き詰めました。立水栓やライオンのモチーフはお客様のご要望。ライオンはイメージ通りのものを探すのに苦労しました。落ち着いた石使いの仕上げが功を奏し、花々の美しさがさらに際立った美しいガーデンエクステリアが完成しました。



H様邸



女性ならではの感性が生かされた丸みのある優しいデザインであり、ガーデニングを存分に楽しめるアプローチができあがりました。アンティークレンガと、彩り豊かな花々が、色合い豊かに変化し、気分を弾ませるプランです。

女性スタッフの力を最大限に活用して、奥様が満足できるデザインを提案 事務所に設けたモデルガーデンが好評で、来店客の受注も増えている

創業以来25年、ハウスメーカーの仕事がメインでしたが、5年前、エンドユーザー様に力を入れる「エクステージ」を立ち上げました。まず事務所の外まわりを改装し、おしゃれなエクステリアの提案を盛り込んだモデルガーデンに...そのお陰で、姫路駅から車で30分と立地は良くないのに、週に4~5組のお客様が来店されます。

当社のセールスポイントは、女性のパワーとセンスを最大に活用していること。スタッフは両親と私以外は女性3名ですが、彼女たちには「自由なアイデアでプランを」と任せています。お客様の年代が30~40代と若く、奥さまに決定権がありますから、女性同士のほうが心を開いて話し合え、デザインセンスにも通じ合うものがあると考えたからです。本音で話し合っ、ワンパターンでない、お客様の希望と個性が生きるような提案を心がけています。

全員CADを使っており、曲線を多用したやさしいデザインが当社の提案ポイント。男性の私から見ると「やりすぎかな?」と思ったり、施工上難しい場合もありますが、彼女たちを信頼し、こちらはそれを技術的なフォローでしっかりと施工するといった分担がうまくいっています。

実績は月に大小合わせて10件、800~1000万円ぐらいで、内訳はハウスメーカーとエンドユーザーさんの家が半々でしょうか。アフターフォローも重視し、定期的に植木の手入れなどに伺うようにしています。そのためか、小工事ですが、お客様からの補修や追加工事の受注も結構多いんです。エクステリアはお客様と長くおつきあいできるかどうかが鍵だと思います。



設計担当の女性トリオ
左から
米田久美子様、寺内あい様、香山恵美様

女性スタッフから一言
米田様「建築会社に5年勤め、ここに来て2年半です。当初は図面上でしか考えられず、高低差などがピンと来ませんでしたが、今では施工も含め立体として発想できるようになりました」
寺内様「今年で4年目、とても充実しています。デザインセンスは雑誌を見たりお店に行ったりして磨きますが、何よりも『自分が楽しめる』という感性を大事にしています。一番うれしいのは、お客様が喜んでくださった時ですね」
香山様「去年の4月に入社、まだわからないことがたくさんありますが、専務や先輩方がフォローしてくださるので、楽しく学びながら仕事をしています」



専務取締役/工事責任者
東口 崇様



速くからも来店される事務所と人気のモデルガーデン



K様邸

Uスタイルが玄関アプローチとカーポート空間に一体感を創り、住宅外観とのデザインイメージが調和したファサードです。アールカットして敷き詰めたアプローチのアンティークレンガが素敵です。



ガーデンエクステリア

Uスタイル

好評のUスタイルに「アプローチタイプ」が加わり、より幅広い提案が可能になりました。



庭用心

フェンスや門扉を乗り越えようとする音と光で知らせる話題の「庭用心」。威嚇だけでなく、家の中にもアラームで知らせ、同時に外出先にも連絡できるシステムを追加しました。



スペースマンテン

見込み幅77mmと従来の約1/2...中折れセットでは従来より回転幅も小さく収納...スペースが有効に使用でき、満点です。



カーポート F-1

多様化する住宅様式や街並みに調和するフラットデザイン...ディテールまでのデザイン性、愛車を守る紫外線カット機能などを配慮しました。



ウォールエクステリア

スーパー エリーバ

柱建て式・屋根置き式・庭置き式はもちろん、好みに合わせて、縦格子・ポリカーボネート・パンチングなどのパネル、各種納まりなど、多彩なライフスタイルやリフォームにも対応します。



パブリックエクステリア

大型引戸扉ノンレールタイプ エアロディート

扉本体に取り付けたガイドローラーが、収納部分に設置されたガイドレール内を走行。価格・施工性を追求しました。



時代に先がけて、つねにお客様の望む商品を!

三協アルミ代表取締役 川村社長の挨拶



市場縮小の中で当社は相対的にシェアを伸ばしています。しかしこれに満足せず、お客様の望む商品をいち早く提供できるよう、つねに前進し続けていきたい。この展示会を機に、『新』しいものを提案し、お客様と『親』しくなって、『信』頼関係を築いていきたいと思っています。

“ニュービジネスチャンスとサクセスストーリー提案” に高まる新たな意欲

新時代・新世代のライフスタイルに対応した「新」感覚

テーマゾーン

新世代ゾーン

新時代の提案

ファブリックの機能ボール、木質感の扉...若者の感性にフィットする新テイストを提案



機能ボールにファブリックを新素材として取り入れた「ヌノアール」 “カラフルでおしゃれ!” 柔らか感が素敵”と上々の反応

門扉「ナチュレ」



EX商品統括部・商品開発課 左: 山下千鶴 右: 影山二郎

影山(「ヌノアール」を開発) 「キャンバス地を使って、これまでにない柔らかな質感と斬新なデザインの機能ボールをつくりました。喫茶店やブティックなどの店舗にも利用できると思います。色を変えて張り替える楽しみもあります」

山下(「ナチュレ」を開発) 「板張りに見えますが、アルミなので耐久性があります。従来の鋳物=唐草模様のイメージを変えたくて、若い世代が好む質感やデザインにこだわりました。親子扉ですが左右対称にして、おしゃれに仕上がったと思います」

商品の受注獲得に向けたポイント「信」感覚

提案セミナー

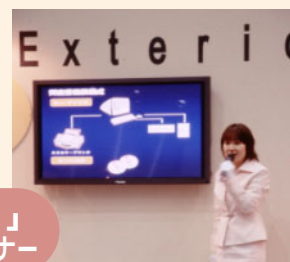


ユーザー様への提案手法が成否を決める時代 映像・サンプル・提案ツールで「信頼」を確保

ユーザー様にUスタイルや庭用心などを上手く提案する手法を紹介するセミナーは大盛況。心理テストも盛り込んだ実践的な内容で、分かりやすいと好評でした。Uスタイルのキット模型や、見積りシステムのCD-ROMのプレゼントも好評でした。

エクステリア専用CAD 「スーパー御庭番」 最新バージョンをご案内

「スーパー御庭番」 デモンストレーションコーナー



ユーザー様とのコミュニケーション強化策「親」感覚

カタログ&ITコーナー



ITによる提案手法のご案内。ホームページ「Exterior Business Tool」から、商品ガイドや施工例、カンタンチラシマスターなどをダウンロードして、ユーザー様にレベルの高いプレゼンテーションやチラシを作成いただけます。

スペース活用

「狭い所でも快適アプローチ だれにもやさしく」を提案



Uスタイルの新作「アプローチタイプ」 高低差や曲がりくねったアプローチにも屋根がつけられ、ユニバーサルデザインを取り入れたカーポートまわりをご提案いただけます。

ウォールエクステリア

スーパーエリーバ (右奥の商品) 木粉入り樹脂デッキを使用。排水も考慮した快適バルコニーです。柱は馬梁仕様も可能で、バルコニー下を有効活用できるのも提案ポイントです。



パブリックエクステリア

機能+景観美を追求した 心なごむ公共空間を提案



歩行者自転車用柵「ビューライン」 公共空間に求められる、強度・安全性・耐食性に優れています。デザインも様々にお選びいただけます。

防犯・安心

通報機能追加で 充実のセキュリティ提案



フェンスや門扉を乗り越えようとする音と光で知らせる話題の「庭用心」。威嚇だけでなく、家の中にもアラームで知らせ、同時に外出先に通報もできる機能を追加。防犯への関心が高まる中、「さらに安心」の提案を充実させました。